

◆行發日五十月六◆
 送五料送、錢十五円きり限に号本

增太
刊陽

切なることは、實社の是を轉じざる處であります。

京師前丸の内ビルヂング(發牛込三丁目〇)

仙臺、東京、横濱、名古屋、京都、大阪、
戸、新潟、京阪、大坂

易に厭せざる男女一代の保健法に各種
兩氣の療法及豫防法を網羅し、しかも

最新の學理と多年の実験とを最も平

會員大募集——好機逸する勿し

新詩歌俳句講座

入塾生・聴講生
六ヶ月終了
會費八圓
月費四圓
三月五圓
四月六圓
五月七圓
六月八圓
七月九圓
八月十圓
九月十一圓
十月十二圓
十一月十三圓
十二月十四圓

講師
前田 晴山 福士 鑑山 白石の 啓太郎

進呈
見本
原稿
寄附
品々
歡迎
申付

新詩歌社

關東の震災に偉効を奏し
名聲噴々たる大倉金庫

最新刊

利便之助者 東洋史綱要 四〇
 思慮の道標 六〇
 非難の生活 一〇
 異性を敬る 一七〇
 國策と敵女 一六〇
 帝衣の乙女 一三〇
 動物物の利用 五〇
 非難詩集の藝術 九〇
 殖産政策の藝術 七〇



目下二門大
店器真

[illegible]

理學博士 片山正夫氏著

最新營養品
嗜好品製造化學
◆最新刊行版◆
平山藥學博士譯
石尾重雄博士監修
◆定価五圓五錢
◆送料金 試給七角

[illegible][illegible]

植物の構造と生殖
 増訂第三版
 理學士 石川光春氏
 著 二拾
 趣味か海藻と人生
 第二版
 理學博士 岡村金太郎氏
 著 二拾
 東京女子高等師範學校
 附屬幼稚園事務
 文庫土 倉橋惣三氏

附
贈
幼
稚
園
内
日本幼稚園協会

幼児に
・ 聴かせるお話し

[illegible]

東亞日本橋大佛堂
内田老鶴
振替東京二二四

婦女界 特別号 主婦の買物競争

朝鮮小學新聞
家庭新聞
朝鮮小學新聞社

◎校外生電機學
◎講義錄本
◎四中西士
◎華英字典
◎電氣書籍

池の通信教授
 入學
 東京市神田區錦町三丁目
 錦營口座東京一三二八四
 学校教員野
 大男に送る

[illegible]

百田宛の主婦の買物競べ

△「何でも自由に買物をなす」といふ主人様から放された
西洋的の言葉は、さう使ふから、取りに本家がらんだ
代金の五割、手かゝつた家産を、一俵から、最善の意
義を買物をし、お城を賣物にし、目にかけます。便利
な買物を愛する主婦は、買物の目には誰かが、買物のこ
能率のよいものを買物をとて宅ややす子

◇買つて貰へぬ家具類を、菊池包子
◇子供と家庭本位に、鈴木途子
◇生活改善と子供本位、米田和喜
◇新世帯に必要な品を久我り孝

◇長男の嫁を何方に定めませうか
△奥平初に快諾を与へ他の方にない身上相談します

◇御慶事記念第三回愛讀者訪問競争
△向う二条の間に、酒をけるが席名の格別

今更には新進で秀出するものが多い。その中に、
 子に冠するものがある。その中には、
 をはなれるか女が男の顔を
 望を破るか二成案がある。

◇初夏に讀者訪ねて甲斐相模
 ◇裏日本を新瀉富山へ――首藤久子

◇腹痛の種類其手當
 ◇腹刺小筋本當の健康法
 ◇婦人への登山案内
 ◇日本の女子水泳選手とレコード
 ◇東京京都大阪の避暑地紹介
 ◇九州巡記
 ◇世界一周紙

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

日比の木山にも木心に花出る
 日が乾度来るこの西風に東西

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美
 震災後調査
 子煩悩
 ピクチュア・セクション
 田庄太郎
 川上四郎
 自由畫
 海あさがほ
 懸賞當選

面を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを
 口を綴り綴りしげを

文藝大久保隆左門太田
 を箱から日常非常の薬子
 にお目に
 豊原 齋護士
 博士
 小田
 中山
 中島
 吉
 野口武美

特別附録
 夏季誌上
 講習録
 (昭和十四年八月)

△時と費用の關係で講習會には出られぬ人がある、これは多額な費用を出さず、ゐながらにして受けるる是も夏物土產の手藝品と子供服、田舎 松子
 △夏物の絹レース編物の種々 出田 松子
 △代表的な東髪 knot 結方十二種 大森 晶子

文藝時
 時々の氏神 菊池 寛
 △抜けがけの二本の草が一本と血を見て元の羽にめつた動物の夫婦啼きを聞かずに一匹物

小説 人の一生 岡本 一平
 △筆者が一生の仕事と取りかゝつた最初の大作 (詩)はそ月 正富 汪洋

(原稿)我が一年有半 鈴木泉三郎

來出の用應ぐす
 △直ぐ出来る趣味の文化彫刻繡
 △品位を保たせるお座敷の裝飾
 △感じを主とする洋館室内裝飾
 △流行の薄物を仕立てる祓袂
 △農家の副業によい杞樹の栽培
 △直ぐ應用の出来る洗濯祓傳
 △おいしい夏の飲料とお菓子

△もつたが原稿で、ワラシキが新雄明の津田(史)の手藝品の詳細な図で趣が豊かに大附録です
 △自由な新しい東髪と少女髪 山村 松子
 △おこなし向きの新しい東髪 木村 伊賀子
 △垢抜けのした日本髪 knot 結方 伊賀 さら

欄

(神曲) **咲く花** 三郎作
 (小説) **咲く花** 三郎作
 △新人の恋愛女性の心理解剖、恋した喜びかな小説

新珠 菊池寛
 (長篇小説)
 △男子を性しからず、処女を嫁さざるべしとの評、行方不明娘が今度はお嫁になる

事記
 △夏と鮎との日本料理一種
 △夏向きの雑誌材料一種
 △難症のわきががすぐ治る秘薬
 △泣く子のすかし方
 △作法百項一首

大正市販 婦女界支社
 (後發大阪二七四番)

[illegible]

る處のゴム店
具 運動具
店に販賣せり

短歌 (尾上柴舟選)

「彼は、さう考へてゐたが、我儘をた。今此の男は、此處でをすゝねりて、今や一足ふりて此男が布巾を切つてゐる」と驚く出来ぬものを見て、驚りた。驚いたのが、さう決心した。彼が、真ん中を出してきて、立てて、目には、手もない。此の男に負けし。まことに、とて、思ふは、それ、無理に我慢をしなからう。無説す。すつかり、あつて、肝臓が、おぼろけになつた。彼は、

歌人 (尾上榮舟遇)
歌を贈す(三十五錢東京市外中濫
谷八五七純正詩社)
▲葡萄園(六月號) 樂園の經(久

[illegible]

市主生朱權町五の一其社 ▲淨明
(六月)十錢京城本町三の五〇開

[illegible]

でせう、夫ならば氷はいりません
(係) ▲大洲生探よ姿も鷄の眼

[illegible]

さまお憐れみなさつて不用の雑誌

[illegible]

獨逸エスビー電氣車株式會社
朝鮮代理店

獨逸政府
日獨賣許
賣賣
式年四二二一

自動自轉車
代用車

一人乘

各一臺に付

定價金一千四百五十圓也
台數三十台限り

定價金一千二百五十圓也
台數二十台限り

特價金一千四百五十圓也
特價金一千二百五十圓也

運轉士の免狀はいりません

充電は素人にも出来ます

僅かに一哩一錢で走ります

代理店設置紀念特價賣出し

紳士用二人乗
家庭用二人乗

特價

定價一千八百五十圓
金二千六百五十圓也

最新新聞名詞記入簿中「流行病」條並「豫防」條參上「豫防」中上條

釜山府幸町（電話一九〇一番）

仁丹動物候診

カイゾー（海象）

近カイゾー

悪疫の流行期

豫防は

仁丹

に限りません

金言 何事モ容易トナルニ先チテ困難ナリ

（笑面狸感）

消化と
毒ヲ
殺シ

仁丹

流行病

動物

仁丹動物候診

原料 東亞藥房
 接(主用) 按(兼用)
 一號(廣用)
 二號(廣用)
 三號(廣用)
 四號(廣用)
 五號(廣用)
 六號(廣用)
 七號(廣用)
 八號(廣用)
 九號(廣用)
 十號(廣用)
 十一號(廣用)
 十二號(廣用)
 十三號(廣用)
 十四號(廣用)
 十五號(廣用)
 十六號(廣用)
 十七號(廣用)
 十八號(廣用)
 十九號(廣用)
 二十號(廣用)

天竺サシイフ 天竺サシイフ

全日本 唯一の 代理店

說明書 見れば

花柳病 予防新劑

唯一の 全保

土師原中証

サナタナ

男女 適用

殺菌クリム

輸入 代理店

白井松新藥部

島居商店

支那總代理店

天竺サシイフ 天竺サシイフ

當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地

株式會社
漢城銀行

支店所在地

大原 平壤 大田 蔚山 釜山 仁川 光州 濟州 咸興 清津 南浦 元山 海州 新義州 羅先道 南浦 元山 海州 新義州 羅先道 南浦 元山 海州 新義州 羅先道

有田音松鑑頼

〔世に物御法〕

●商會の隆盛を美々にせ藥を販賣するものあり。
御買取の際は「**藥箱**」に「登録**有田ドラッグ**」と
「有田音松」の文字無きものは「にせ藥」なり、
御注意せられたし。

●本劑は諸合藥に付き他の藥店に販賣を許さず。故に
御入用の諸君は下記事實所へ直接申込あれ。

他藥店に販賣せず

ばいりん病

毒

請合藥

並二円	特別四円	並三元	特別八円
-----	------	-----	------

責任製剤

●本劑の主治は治癒難し、ばいりん毒の主症は癰腫内服藥
として世界醫學界第一の特効薬と稱せられ帝國醫科大學
病院等にて實驗配製せられたるあり。其内務省衛生試驗所が檢
査したせる高貴藥を配製せることを保證す。且分拆の結果前述の證
言に於ける事實を廢止せる時は分折して**金百圓を進呈**す
●あらゆる治療法を講ずるも効なき患者は兎に角全國
各都市に設置の賣賣所に來談せられたし。

論議より證據

有田グラッド專賣所

龍南野	成興本	元山町	新義州	鎮南浦	平壤郵便局前	兼二浦本町	慶南統營面	馬山京町三	釜山辨天町	甘浦弓港	大邱	麗水	光洲本町	木浦梁町	全州高砂町	群山東梁町	大田春日一	仁川宮町二	城龍山練兵町	京黃金町電車道
-----	-----	-----	-----	-----	--------	-------	-------	-------	-------	------	----	----	------	------	-------	-------	-------	-------	--------	---------

全到國在所專賣所あり